

## 平成29年度 シュニア強化・育成会議

日時：平成29年11月23日（木祝） 13:00～  
場所：エコスタジアム 第4会議室

### 【 次 第 】

- 1 開会のあいさつ 杉中 宏 会長
- 2 自己紹介  
新潟～下越～佐渡～県央～長岡～柏崎～上越の順で  
(出席者名簿は別途資料)
- 3 行事予定  
3-1 スケジュール説明 吉原
- 4 エンデバー事業、ユース事業、既存実行委員会との連携及び役割  
4-1 山田専務理事よりご挨拶 山田洋司副専務理事  
4-2 猪爪チーフマネージャーよりユース事業のご説明 猪爪正和ユース育成委員長  
4-3 各地区依頼文など（添付資料：配布資料一覧）  
4-4 質疑応答
- 5 U12新潟県選抜チームについて  
5-1 選抜方法（添付資料：選抜基準ガイドライン、選抜人員数、人選役員） 吉原  
5-2 選考スケジュール  
5-3 質疑応答
- 6 全体質疑応答
- 7 閉会のあいさつ 近藤 秀之 委員長

議事進行：

黒崎 裕（長岡地区）

書記・議事録作成：

吉原 隆道（新潟地区）

配布資料

- 1 式次第（本紙）
- 2 出席者名簿
- 3 全体予定表（案）
- 4 選考ガイドライン（案）
- 5 実行委員会配信資料一覧（参考資料）
- 6 昨年度実行委員会議事録（参考資料）

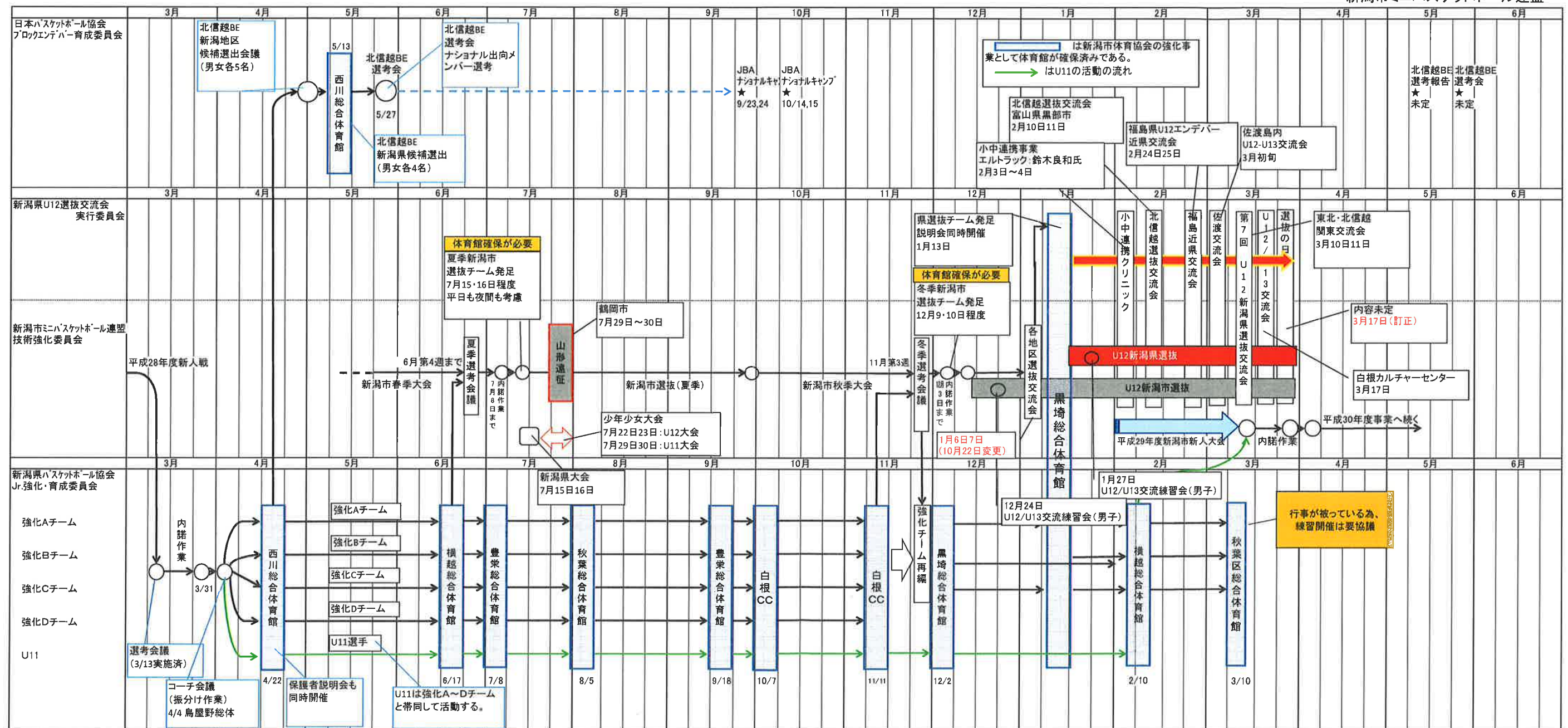
## 2017年 ジュニア強化・育成会議 出席者名簿

2017. 11. 23

[illegible]

# 平成29年度 U12選抜実行委員会・技術強化委員会 スケジュール(案)

主管・主催 U12新潟県選抜交流会 実行委員会  
新潟市ミニバスケットボール連盟





# ユース育成担当者会議

技術委員会 ユース育成部会  
2017/09/03



- 「強化育成組織のあり方」
- 「育成センターの実施」
- 「リーグ戦文化の導入」

## 世界に通用するバスケットボール

強化

世界基準を日常に取り入れる  
世界を目指す環境  
世界を視野に入れた指導を日常から行う



## 国内で活気あるバスケットボール

普及

バスケットボール愛好者を増やす  
バスケットボールを楽しめる！上手になる！  
日本代表が強い！応援する！



いつかやらなければならないことであるならば  
私たちの世代でやろうではないか

4

煉瓦を積むようにして土台を作る  
その大きな土台に  
最後の一個を代表が載せる

土台を作るのは  
育成世代に関わる指導者たち

選手たちは将来大きく成長する  
素地を持つことができる

5

【課題】

- 日本の指導方針が見えない
- 育成が不十分
  - トーナメント文化で試合数少
  - 成長が大きくない
  - 能力別に発揮する場が不足
  - Bリーグユース(男子)の設置
  - 大会が育成方針に合っていない
- 発掘の道筋が分かりにくい
- 育成世代での勝利至上主義
  - 成長に適した指導ではない
  - 指導者教育が不十分

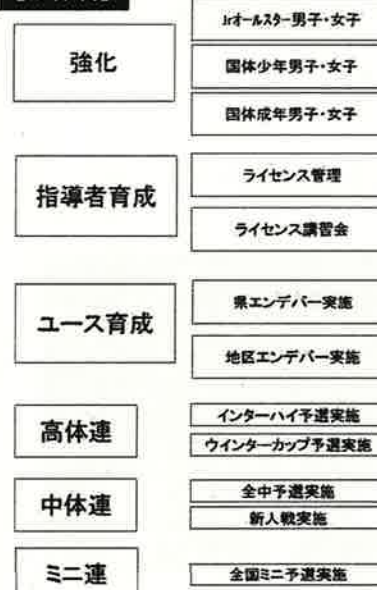


【解決策】

- 指導内容の明確化と周知
  - ジャパニーズウェイの反映
  - 習熟度別指導方針作成
  - 周知方法論(HP・講習会)
- 育成センターの創設
  - 個の育成、飛び級
  - 発掘システムとしての充実
  - JBA方針伝達、指導者教育
- リーグ戦文化の構築
- 大会の環境整備
  - 育成方針を反映した大会

6

【旧体制】

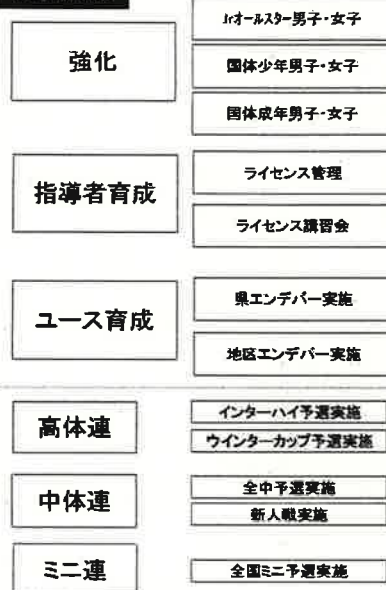


7

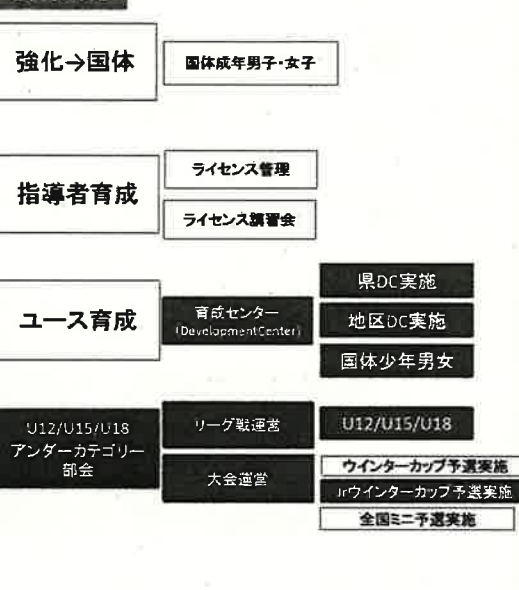
## 旧体制図と新体制図



### 【旧体制】



### 【新体制】



## 育成センター事業 (Development Center= DC)



### I 育成センター(DC)の目的



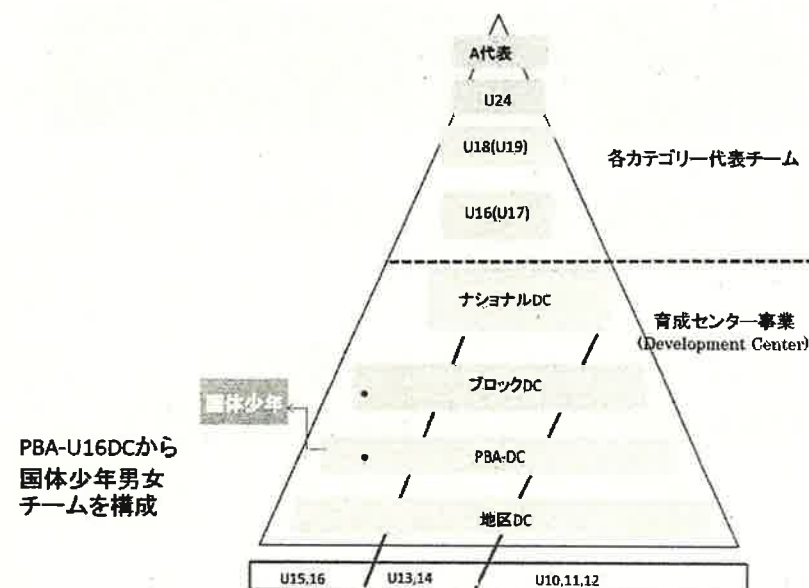
■ 質の高い競争(育成)・・・個の育成  
最低でも2年カテゴリー U12/U14/U16

■ 情報伝達(指導者教育)  
ジャパニーズウェイ、育成世代コーチング

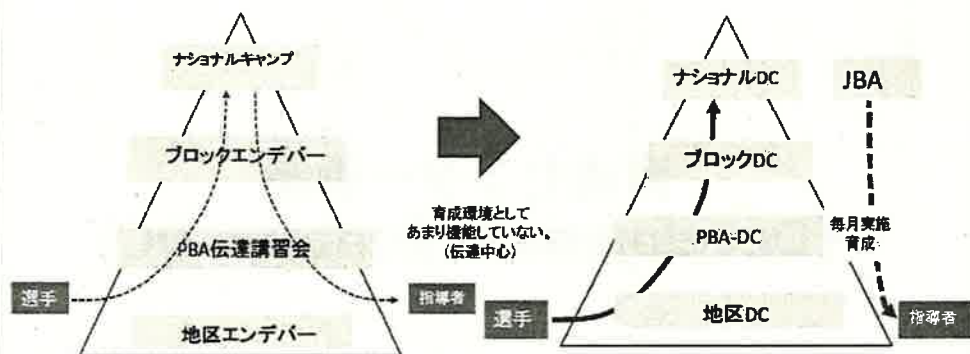
■ 能力に応じた競争(発掘)  
天井効果排除

※地区⇒県⇒ブロック⇒ナショナルに繋がる発掘  
(アスリートパスウェイ)

### II 育成センターの構造







- ナショナル育成キャンプーブロックエンデバーー都道府県エンデバーー地区エンデバーの統合
- 都道府県・地区における育成環境整備

12

- 2018年度準備年度  
ー実施可能なところは実施
- 2019年度完全実施を目指す



13

## 都道府県育成センターとしての全国的イベント

- U12U14の育成センター全国イベントの是非については今後検討
- PBA-U16DC活動を都道府県の国体少年男女チーム活動と連動させる。

14

## 1. 主催団体と担当

- ① 都道府県協会主催事業であること
- ② 都道府県協会ユース育成担当者が中心となって事業を進めること

## 2. 活動の構造

- ・ 地区（市区町村）単位と都道府県単位が存在し連携した活動（ピラミッド構造）になっていること（都道府県単位のための単発的な活動は対象外）

15

## 3. 選手対象年齢

## ①16歳以下の選手を対象とした事業であること

※2018年度に限り、18歳以下も認める。

2019年度以降は16歳以下のみ対象となる。

## ②1年(1歳)単位のカテゴリーを設定することが望ましい

最低でもU12U14U16の2年ごとのカテゴリーを設定する。

## ③年齢は1月1日付の年齢を基準とする

ただし、運用として4月1日付の年齢(学校における学年)を基準とすることも認める。

※優秀な選手の場合、上のカテゴリーで活動することは妨げない。  
(飛び級を可とする。)

16

## 1. 設定単位(カテゴリーと区分)

## ■U12U14U16を設定した場合

U16				国体 少年男女
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U14				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U12				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	

※ 地区数は都道府県により異なる。

17

## ■U11~U16を設定した場合

U16				国体 少年男女
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U15				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U14				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U13				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U12				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	
U11				
県選抜				
A地区	B地区	C地区	D地区	

※ 地区数は都道府県により異なる。

18

## 2. 年間日程

## ■年間活動計画(育成計画)に基づき実施する

①月1回以上計画

②年間10回以上計画

19



## ■2017N県年間実施計画

	U11	U12	U13	U14	JAS	U16	少年男女 団体
	4地区	4地区	4地区	4地区		4地区	2018 U-18
4	Coach 研修会						
	Tryout(地区+全県)	Tryout(U11地区+全県)	Tryout(U12地区+全県+全県)	Tryout(U13地区+全県+全県)		Tryout(U16地区+全県+全県)	
5	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	
6	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	
7	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	
8	4地区+5PWU11対抗戦	4地区+5PWU12対抗戦	4地区+5PWU13対抗戦 選手入替等	4地区+5PWU14対抗戦 選手入替等		2018 U-16 + Test Match 選手入替・入替等	練習会(1回)
9	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)
10	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)
11			練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	
12	4地区+5PWU11対抗戦	4地区+5PWU12対抗戦	4地区+5PWU13対抗戦	4地区+5PWU14対抗戦		練習会(1回)	
1	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	JAS Test Match	
2	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	JAS Test Match	
3	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	JAS Test Match	

20

## 3. 単位(カテゴリーと区分)別日程

## ①毎月第4土曜日(仮)の設定

育成センターの日程が優先されるようなスケジュールの構築

## ②1回あたりの練習時間

3時間以内

## ③場所

体育館調整(単位ごとに決定する。)

21

## ■2017N県単位別実施計画

NO	県/地区	カテゴリー	男女	月	日時	場所	備考
例	県	U13	男	4	2017/4/23 9:00-12:00	松本市総合体育館	
1	全県	ALL	男女	4	2017/4/1 13:00-18:00	松本筑摩高校体育館	コーチ研修会
2	県	U14	男子	4	—	—	
3	県	U14	男子	5	2017/5/7 8:30-12:30	東北中学校(長野市)	
4	県	U14	男子	6	2017/6/10 8:30-12:30	東北中学校(長野市)	
5	県	U14	男子	7	2017/7/1 8:30-12:30	高森中学校(高森町)	
6	県	U14	男子	8	2017/8/5 8:30-12:30	小海中学校(小海町)	
7	県	U14	男子	9	2017/9/2 8:30-12:30	東北中学校(長野市)	
8	県	U14	男子	10	2017/10/7 8:30-12:30	東北中学校(長野市)	
9	県	U14	男子	11	2017/11/18 8:30-12:30	高森中学校(高森町)	
10	県	U14	男子	11	2017/11/25 8:30-16:30	未定	
11	県	U14	男子	12	2017/12/2 8:30-12:30	小海中学校(小海町)	
12	県	U14	男子	12	2017/12/10 8:30-12:30	未定	

22

## 4. スタッフの決定

コーチ・マネージャーを決定する。

## ①総括マネージャー

## ②カテゴリーマネージャー

## ③単位ごとのコーチ

例：U12U14U16カテゴリーで4地区+県選抜(計5単位)に  
3名のコーチを配置した場合のコーチ数

$$3\text{カテゴリー} \times 5\text{単位} \times \text{男女} \times 3\text{名} = 90\text{名}$$

23

## ■記入例

総括Staff

NO	Categ.	男 子			女 子		
		氏名	所属	Lice.	氏名	所属	Lice.
1	全体総括						
2	U11						
3	U12						
4	U13						
5	U14						
6	U16						

全体総括は1名、  
カテゴリー総括は  
男女兼任も可

Coach

NO	Categ.	別	男 子			女 子		
			氏名	所属	Lice.	氏名	所属	Lice.
1	県	Main						
2		Sub						
3		Mana.						
4	北信	Main						
5		Sub						
6		Mana.						
7	U11 東信	Main						
8		Sub						
9		Mana.						
10	中信	Main						
11		Sub						
12		Mana.						
13	南信	Main						
14		Sub						
15		Mana.						

24

## 5. 選手募集と選考

## ①選手募集

- 都道府県協会HPの案内
- 協力団体への告知
- 各チームへの告知

## ②選考

- ・各単位の適性人数は20名前後
  - ・トライアウトを基準に選考
- ※選手の途中入れ替えも可とする。

25

## 6. 指導内容

## ①指導内容

JBA技術委員会より提示された内容を基準とする。

## ②コーチ研修会設定

指導者を対象に教育・研修を抱合せで実施すること

26

## 7. 経費と処理

## ①事業予算案の作成

## ■事業規模の確認

カテゴリー、単位数、コーチ数等

## ■経費基準の設定

JBAの定める「育成センター経費処理規程」に準ずる  
上限等を設ける場合は都道府県で基準を設けること

## ■全体予算の作成

⇒ 都道府県協会全体として確認すること

27

## 7. 経費と処理

### ②事業遂行のための財源

- 選手からの適切な参加料徴収
- 補助金等（JSC 他）
- スポンサー収入
- 都道府県協会の負担
- Dファンドの活用

28

## 8. その他

### ①実施報告書

単位ごとに毎回、内容と参加選手を記した報告書を作成する

### ②参考として

2017年度にPBA-DCを実施した長野県DCの資料を参考に

29

### ■PBA-DC参加選手の中からブロックDC、 ナショナルDC推薦選手等が決定する。

- ①U11 ⇒ 次年度U12ブロックDC
- ②U12 ⇒ U12ブロックDC
- ③U13 ⇒ U13ブロックDC
- ④U14 ⇒ U14ナショナルDC
- ⑤U15 ⇒ U15ナショナルDC・国体・U16日本代表
- ⑥U16 ⇒ 国体少年・U16ブロックDC・U16日本代表

30

### 指導内容を学び 指導実践を通して 育成年代のコーチとしての 指導技術の研鑽を積むこと

1. 若く、情熱のある指導者の指導実践の機会としてDCを活用
2. 総括等からの助言を受けるなど指導者を育てる環境を作る

31



平成 29 年 11 月 23 日(木・祝)

エコスタジアム 13 時から

## 平成 29 年度ジュニア強化・育成会議

### 1 育成センター (Development Center : DC) 開設に向けて (資料『ユース育成担当者会議』9 月 3 日)

◇D-fund 申請にあたり、新潟県ユース育成委員会として、現段階での大まかな計画

①カテゴリー：U11、U12、U13、U14、U15

②地区と県：U11、U12 は 5 地区と県選抜 \* 5 地区：新潟、佐渡、下越、中越、上越

U13、U14、U15 は 4 地区と県選抜 \* 4 地区：新潟、下越、中越、上越

③経費：選手参加料 + D-fund

④日程：原則月 1 回実施 \* U15 のみ 8 月から 11 月

⑤実施までのスケジュール：ユース育成委員会中心

(1) 年内に各連盟に説明し、協力を得る。カテゴリー総括の人選・決定。

(2) 要項など作成 (3) スタッフの人選 (4) 選手募集告知

⑥指導内容：3 月に伝達講習会、ナショナル育成キャンプ映像配信

長岡・県央 地区 14-1  
20/12

次回の会議まで12月検討

1/27(土)

PM13:00~

◇今までのブロックエンデバーは？

- ・ 10 月～2 月に実施予定。
- ・ 都道府県 DC の活動の中で参加選手を見極める。
- ・ 将来的には全国を 3 ブロック程度に再編成の予定。
- ・ U12、U13 のナショナルキャンプは来年度より実施見送り。

### 2 トピックス

◇映像配信

- ・ JBA の HP 内【Basketball Library】
- ・ 公認コーチ E 級はダイジェストのみ。D 級以上はすべて視聴可能。

◇指導者表彰制度

- ・ 育成年代の指導者への敬意と育成年代の重要性の再確認

◇マンツーマン推進

(1) リーフレット『なぜマンツーマンが必要か?』

- ・ JBA の HP で公開済み (2017 年 10 月 24 日付)
- ・ 都道府県協会事務局へ配送されるので機会を見つけて配布。
- ・ マンツーマンディフェンスのためのマンツーマン推進ではない。

(2) マンツーマンディレクター会議 (12 月 9 日予定)

## 平成29年 U12 新潟県選抜交流チーム選考ガイドライン

### ○選考基準

- ・バスケットボールのルールを理解している選手。
- ・将来を通じてバスケットボールを続けていく意思のある選手。
- ・監督・コーチの話がしっかり聞けて実現に努力をする意思がある選手。
- ・チーム内で仲間の選手の意図を推測して判断してプレイできる選手。
- ・プレイに創造性がある選手。
- ・規律のある服装・行動・言葉使いができる選手。
- ・基本的なボールスキル（パス・ドリブル・シュート）が確実に出来る選手。
- ・男子身長 170cm 以上・女子身長 165cm 以上な選手。

以上の基準を参考に今年度における各地区大会及び新潟県大会（春季、秋季大会）、もしくは平成 30 年 1 月 6 日 7 日に「五泉市村松体育館さくらアリーナ」で開催される「新潟県各地区選抜交流会」をもって選考頂きたくお願い致します。また、チーム成績は重視せず、優先順位としては上記選考基準に沿った選手の選考をお願い致します。人数については推薦人数の総計が過大・過少であった場合は、ジュニア強化・育成委員長発議により委員を招集し臨時委員会を開催して決定しますが、概ね総計 15 名程度を想定しております。

### ○発表

「新潟県各地区選抜交流会」後、協議を行い、各委員より所属チームコーチに連絡しコーチと保護者の承諾を得た上で参加の決定とします。その後、メンバー表を作成し、選手及び各地区にメールもしくは文書の郵送、新潟市ミニバスケットボール連盟 HP にて掲載させて頂きます。

以上